

認証年度:令和5(2023)年度

# 輸送用機械器具



かぶしがいしゃ  
株式会社ツルオカ



323-0804  
栃木県小山市萱橋1085  
https://tsuruoka.co.jp  
(最寄り駅やインターチェンジ等からの距離)

お問い合わせ先  
TEL:0285-49-3330 FAX:0285-49-3404  
Email:ytutumi@tsuruoka.co.jp

## ここがセールスポイント リマン事業に対応した『RECYINT』スマートビジネスモデル

サーキュラー・エコノミーに包含される「工業製品の長寿命化、資源循環」に、当社の解体・破碎(分選別)技術を活用した水平リサイクルやカスケードリサイクルのプロセスは、RRRDR(Remanufacturing, Refurbish, Repair, Direct Reuse)に親和性がある仕組みです!

### 会社概要

代表者名 鶴岡 正顯  
資本金 9,980万円  
年商 147.7億円  
従業員数 150名  
設立 1931年  
取得規格 ISO9001、ISO14001

### 主な拠点・主要取引先

拠点:小山事業所(小山市)  
取引先(五十音順):アイチコーポレーション、伊藤忠メタルズ(東京鋼鐵など)、エムエム建材(東京鋼鐵など)、小松製作所、日立建機

### 事業内容

建設機械用・工作機械用鋳造部品の製造及びその他部品の仕入・塗装・組立

わが社の(『RECYINT』スマートビジネスモデル)にはこんな特徴があります!



カウンターウェイト

「リサイクル」は従来の製品製造原価低減や廃棄物発生抑制の目的から、パリ協定やSDGsが裏付けとなり、世界人口の増加や気候変動への対策となる天然資源の利用抑制が喫緊の課題として、社会的に目的意識の変容が起きており、再生資源へのニーズは高まるなか、当社ではリマニファクチャリングやリファービッシュ等の新サービス、性状ごとにリサイクルするための選別など、使用済みの「モノ」に内在する残存価値を最大限活用する技術ニーズに対応した精緻解体と破碎による分選別、適正処理、識別管理等の要素技術を有しております。



鶴岡 正顯

### 社長からのメッセージ

「RECYINT®」は当社のビジネスのコンセプトで、重層化するという意味のIntegrateとRecycleを合成した造語です。昭和6年の創業以来、一貫して資源の回収・再生事業に携わってきた当社は、事業を「重層化・Integrate」することでより有効な資源回収、リサイクル率の向上、環境負荷の低減、そして社会における経済合理性を追及して参ります。

## その他にもこんなものを造っています!

製鋼・鋳造原料、非鉄金属原料等の加工・販売。  
使用済み自動車の引取・フロン類回収・解体・破碎。

### 【鉄資源の地産地消】

事業基盤である鉄スクラップ加工事業で培った、地域で発生するリサイクル地金の原料調達力と加工技術で、栃木県内の鉄鋼電炉メーカーに製鋼原料を優先販売。また、自ら市中より調達したスクラップを原料として、建設機械及び産業用運搬車両向けの鋳鉄製バランスウェイトを製造し、完了(上塗り)塗装とサブアッセンブリを施したうえで、ジャストインタイム方式(以下、JITという)で主に栃木県内の建設機械メーカーに販売。

**鉄骨・鉄筋等建材向けの製鋼原料化**  
50%:リサイクル事業

**50%:ものづくり事業**

**鉄資源の地産地消**

RECYINT  
原料調達から製品製造までの一貫したリサイクルシステム  
(全国でツルオカだけの技術)

(株)ツルオカ小山事業所  
栃木県小山市  
栃原製鋼ロジスティクス

鉄スクラップを加工した製品に特化した事業。

リサイクル収益増  
鉄相場「上」

ものづくり収益減  
鉄相場「下」

社内で相関変動リスクに上レドオフする体質  
いずれも価格はスライドするため影響は甚大ではないが当然、上げ相場のほうが状況は良い

リサイクル収益増  
ものづくり収益減

リサイクル収益増  
ものづくり収益減

塗装工場・海外調達部 JPOP  
建設機械、産業用運搬車等の仕入、塗装、販売  
年間塗装スベック(タクト台数):約3,000台

カウンターウェイト工場  
建設機械、産業用運搬車等の鋳鉄製カウンターウェイトの製造・販売  
年間製造スベック(重量):約1,500t  
国内で調達される50t程度のメーカーリフトに搭載されているウェイトは、すべてツルオカ製